

女性の理系進学 — 家庭・学校・社会のあり方 —

～ 日本の大学の今とアメリカの科学教育から考える ～



2014年4月8日（火）
15時 – 17時

場 所

小柴ホール 東京都文京区本郷7-3-1
(東大本郷キャンパス 理学部1号館2階)
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_25_j.html

講演者

佐藤 薫 Kaoru Sato
(東京大学大学院理学系研究科 教授)
講演：東大理学部における男女共同参画への取り組み
— 女性が自分らしく勉強・研究するために —

ヘレン・クイン Helen Quinn
(米国 SLAC 国立加速器研究所 名誉教授)
講演：Science for the Next Generation
* 講演は英語ですが、日本語のスライドを用意します

対 象

研究者・大学生・大学院生
女子中高生の保護者をはじめとする一般の皆様
(どなた様の来聴も歓迎します)

申込方法

HP から申込：http://geo.kek.jp/todai_semi/
* 先着順 定員：150名

お問合せ

高エネルギー加速器研究機構 男女共同参画推進室
電話：029-864-5149 FAX：029-864-5560
Eメール：geo@kek.jp

佐藤 薫



東京大学大学院理学系研究科教授 専門は気象学。
大気大循環・大気波動をキーワードとした力学理論やデータ解析による基礎研究のほか、昭和基地に世界初の南極大型大気レーダーを実現するなど観測研究も推進。
1998年日本気象学会賞。2011年度東京大学総長補佐。
2012～2013年度東京大学理学系研究科男女共同参画委員長。

Helen Quinn



米国 SLAC 国立加速器研究所名誉教授 専門は素粒子物理学。
Peccei-Quinn 対称性の提唱で知られ、権威のある賞として知られる Dirac Medal、JJ Sakurai Prize 等を受賞。米科学アカデミーの科学教育委員会委員長として米国科学教育の標準化にも取り組んでいる。この試みについて紹介いただきながら、女性の理系選択を支援するためのヒントについて考えます。